

# 令和4年度事業報告

社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会



## 令和4年度社会福祉法人金沢市社会福祉協議会 事業報告

### I 総括

3年にわたるコロナ禍において社会・経済活動が制限される中、本会では、これまで築いてきた地域住民との協働の仕組みや福祉関係団体・行政等との連携を深めながら、地域での見守り・支え合い体制の充実を図るとともに、生活福祉資金の特例貸付等による生活困窮者支援及び複合的な生活課題を抱える世帯や社会的に孤立している人等への支援体制を強化し、住民が安心していきいきと暮らせる地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進した。

### 2 重点目標

- 1 地域住民や社会福祉事業関係者等との協働の仕組みや関係団体・行政等との連携強化を図りながら、地域における住民の見守り・支え合い体制や住民の複合的な生活課題の解決を図るための体制を充実・強化した。
- 2 新型コロナウイルス感染症等の影響により生活に困窮する人や判断能力の低下した人、障がいのある人、虐待や引きこもりに直面する人など、社会的に孤立している人々の自立支援に向けた相談支援体制を充実するとともに、地域における総合的な権利擁護支援体制の構築に取り組んだ。
- 3 地域福祉の推進に関する調査研究や福祉事業関係者の連絡調整、福祉人材の養成・確保・定着及び質の向上に取り組んだ。
- 4 市民の地域福祉活動へのさらなる参加の促進を図るとともに、災害ボランティアセンター機能の充実や支援関係機関・団体とのさらなる連携強化を図った。
- 5 関係団体・行政等との連携強化を図るなど、地域福祉の推進役としての法人の基盤及び機能を強化した。

### Ⅲ 事業内容

#### 1 地域で支え合う仕組みや地域課題の解決を図ることができる体制の充実・強化

##### (1) 地区社会福祉協議会（地区社協）活動の支援〔地区社協会長部会と連携して実施〕

###### ア 情報交換・課題協議

- ・地区社協会長部会役員会（8回…5月、6月、8月、9月、11月、12月、1月、3月）
- ・地区社協会長会議（4回…4月、7月、10月、2月）
- ・ブロック別地区社協・民児協会議（8回※各ブロック1回開催）
- ・地区社協事務担当者会議（2回…5月、3月）
- ・地区社協実施児童クラブの課題検討会議（1回…6月）

###### イ 研修

- ・地区社協会長研修会（1回…2月）  
テーマ「地域福祉支援コーディネーター制度について」
- ・地区社協職員研修会（1回…3月）  
テーマ「令和4年度事業報告・決算報告、令和5年度事業計画・予算について」

###### ウ 活動支援

- ・市社協ブロック担当職員による相談対応・情報提供・年6回巡回訪問・個別訪問
- ・地区社協実施事業（地域福祉支援コーディネーター配置、地域の身近な福祉相談窓口設置、地域福祉座談会、地域サロン、子育てサロン等）実施に係る支援
- ・地区社協・民児協の管理運営の手引き及び地区社協・民児協会計管理ガイドラインによる助言、地区社協会計システムの運用支援および改訂版の作成
- ・地区社協事業・財源等に関する調査
- ・地区社協実施の児童クラブに関する調査
- ・地区社協活動の市民へのPR（ホームページ等）

##### (2) 民生委員児童委員活動の支援〔市民生委員児童委員協議会（市民児協）と連携して実施〕

###### ア 情報交換・課題協議

- ・市民児協役員会（12回…毎月）
- ・市民児協正副会長会議（随時）
- ・市民児協総会（3回…5月、12月、3月）
- ・地区民児協会長定例会（11回…8月を除く毎月）※1月は書面審議
- ・主任児童委員連絡会理事会（4回…4月、8月、11月、2月）
- ・主任児童委員連絡会全体会議（2回…7月、1月）※7月はオンライン会議形式
- ・ブロック別地区社協・民児協会議（8回※各ブロック1回開催）
- ・金沢市民生委員制度創設100周年記念誌企画委員会（1回）

###### イ 研修

- ・地区民児協会長研修会（1回…2月）  
テーマ「組織運営のコツ～円滑なコミュニケーションによる組織の活性化」

- ・地区民児協会長県外視察研修（1回…7月）
- ・民生委員児童委員実務研修会
  - ※新任研修、中堅委員研修(1～3期)欠席者には後日動画配信
  - 階層別「新任研修（1期）」（3回）参加者359名 動画視聴18名
  - 「中堅委員研修（1～3期）」（4回）参加者460名 動画視聴209名
  - 「中堅委員研修（4期以上）」（2回）参加者112名
  - 「地区民児協リーダー（副会長）研修」（3月動画配信）動画視聴161名
  - ※大雪の影響で会場研修を中止、動画配信に切り替え
- ・子どもの見守り研修（2回…10月）※オンライン併用
  - テーマ：第1回「市内子ども食堂のネットワークと果たしている役割」
  - 参加者48名 動画視聴49名
  - 第2回「子どもの将来あるかけがえのない命を守るために」
  - 参加者48名 動画視聴55名
- ・主任児童委員研修会（2回…7月、1月）
  - テーマ：第1回「市内こども食堂の活動について～立ち上げから現在まで、地域を巻き込んだ実践～」参加者75名 動画視聴45名
  - 第2回「①主任児童委員および家庭教育サポーターの制度説明」
  - 「②ヤングケアラー実態調査から見えてきたこと」
  - ※家庭教育サポーター合同研修 参加者82名
- ・ブロック別研修会（2、3、4、5、6、8ブロック各1回）
  - 438名参加（うち動画視聴138名）
  - テーマ：2ブロック「困難事例の紹介」
  - 3ブロック「災害時に地域で要援護者を支援するために」
  - 4ブロック「災害時の避難行動要支援者の支援について」
  - 「小坂地区での取り組みについて」
  - 5ブロック「避難行動要支援者に対する支援活動について」
  - 「浅野川地区における個別避難計画作成の取組について」
  - 6ブロック「災害時に地域で要援護者を支援するために」
  - 8ブロック「コロナ禍の見守り活動について」
- ・他都市民児協との交流研修（2回…10月）

#### ウ 活動支援

- ・市社協ブロック担当職員による相談対応・情報提供等
- ・民生委員児童委員活動PR活動（市内小学校1年生へ全民児連抗菌クリアファイルを配布し、マスコミを通じた広報活動の実施）
- ・金沢市介護相談員派遣事業への協力
- ・金沢市家庭教育サポーター事業への協力
- ・民生委員児童委員活動保険への加入（事故報告4件受付）
- ・全国民生委員児童委員互助事業（405件、2,236,000円給付）
- ・金沢市民児協慶弔規則（48件、490,000円給付）
- ・金沢市民生委員制度創設100周年記念誌の発刊

- ・令和4年8月大雨災害に伴う「被災地民児協支援募金一時支援金」の受入
- ・各種会議のタブレット活用によるペーパーレス化
- ・オンライン会議および研修によるICT活動の推進
- ・北陸SDGs 総合研究所からの寄贈マスクの受入
- ・地域住民の複雑化・複合化した課題への対応の検討
- ・地区民児協活動状況に関する実態調査の実施

(3) 生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取り組みの推進（生活支援体制整備事業）

生活支援コーディネーターを配置し取り組みを推進

〔第1層（市全域）1人、第2層（ブロック担当）4人〕

ア 地域のニーズと資源の見える化・問題提起

- ・「お宝探しワークショップ」（身近な支え合い活動の発掘）の開催

〔開催地区〕長町、夕日寺、浅野、扇台、西、長土堀、諸江

- ・地域支え合い百万石通信（つどいの場の情報）の発行…12回（No.1～No.12）発行
- ・つどいの場 Googlemap の作成…地域包括支援センター圏域ごとの地図（マップ）により、つどいの場を見える化

イ 目指す地域の姿・方針の共有・意識の統一（第2層協議体の取り組み）

- ・ブロック別地区社協民児協会議の開催…8ブロックで各1回開催

ウ 地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ（第3層協議体の取り組み）

- ・各地区地域福祉座談会等の開催…42地区等で109回開催

エ 関係者のネットワーク化

- ・生活支援体制整備事業連絡会の開催（1回）

金沢市、地域包括支援センター連絡会役員、市社協生活支援コーディネーターによる活動報告・今後の連携についての会議

- ・地域包括支援センターとの連携

運営懇談会への参画…19センター38回

地域ケア部会への出席…3回

地域ケア会議等への出席…13センター51回

オ 生活支援の担い手の養成・サービスの開発

- ・地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの地域づくりに関する意見交換会（2回）70人参加

- ・生活支援フォーラム 1部 地域サロン運営担当者研修会…79人参加

2部 シンポジウム…55名参加

カ 高齢者が生涯現役で活躍できる社会の実現に向けた取り組みの推進

- ・アクティブシニア応援セミナーの開催(4回)…63名参加

(4) 地域の見守り・相談・支援体制の充実

ア 地域の身近な福祉相談窓口の設置

- ・市内全54地区社協に、地域住民が気軽に相談ができる環境を整備

- ・相談受付件数1,628件（解決1,210件、関係機関へのつなぎ329件、支え

合いソーシャルワーカーへのつなぎ29件、死去・連絡途絶えた等7件、その他53件)

- ・新規相談員に対する、相談員養成研修の開催（地区毎に個別に実施）
- ・相談員フォローアップ研修の開催（1回。81人参加。後日動画配信）
- ・相談窓口の周知等

金沢市・金沢市社協のホームページおよび各地区社協広報誌による周知

#### イ 地域安心生活支え合い事業

- ・市内54地区において、地域住民主体の見守り・相談・支援体制を構築  
〔実施地区〕
- ・コミュニティカフェ（20地区）  
浅野、森山、松ヶ枝、味噌蔵、鞍月、金石、戸板、押野、西南部、長町、長土堀、米丸、新塀、十一屋、菊川、泉野、野町、中村、三馬、伏見台
- ・買い物支援・移動支援（7地区）  
森本、森山、此花、味噌蔵、二塚、新塀、菊川
- ・無償・有償ボランティア組織（13地区）  
千坂、夕日寺、瓢箪、浅野川、川北、鞍月、栗崎、大野、金石、大徳、三和、芳斉、長田、
- ・見守り活動（11地区）  
小坂、諸江、西、米丸、小立野、崎浦、長坂台、野町、新神田、米泉、富樫
- ・ニーズに応じた支え合いの体制を構築中（10地区）  
馬場、材木、犀川、湯涌、浅川、安原、内川、弥生、四十万、額

#### ウ 地域福祉支援コーディネーターの配置

- ・市内48地区（新規16地区）において、地区社協の機能強化を図り、地域の福祉ニーズを踏まえた地域サービスを創出・推進

〔配置地区と配置年度〕

令和元年度～ 新塀、芳斉、小立野、浅野、長田、栗崎、伏見台、米丸

令和2年度～ 十一屋、中村、味噌蔵、馬場、金石、浅野川、富樫、押野

令和3年度～ 泉野、菊川、此花、浅川、森山、森本、千坂、諸江、鞍月、川北、三馬、米泉、二塚、新神田、西南部、三和

令和4年度～ 野町、弥生、松ヶ枝、長土堀、瓢箪、崎浦、湯涌、小坂、夕日寺、戸板、大徳、西、額、四十万、扇台、安原

#### エ まちぐるみ福祉活動推進事業

- ・まちぐるみ福祉活動推進員の委嘱・3,385人
- ・「まちぐるみ福祉活動ガイドブック」の作成・配布（3,800部）
- ・「すこやか長寿」（パンフレット）の作成・配布（14,000部）
- ・まちぐるみ福祉活動推進員のボランティア活動保険への加入
- ・各地区で実施するまちぐるみ福祉活動推進員研修会への講師派遣等・延べ12地区
- ・まちぐるみ福祉活動推進員・民生委員児童委員が対応する困難ケースへの助言、ケース検討会実施の支援等
- ・退任感謝状の贈呈（283人）

オ 地域サロン

- ・地域サロンの設置・市内全地区、314拠点で設置  
(3,748回開催、延べ50,818人が参加)
- ・地域サロン運営担当者研修(3月)
- ・地域サロン運営支援(巡回訪問、広報、情報提供、課題に対する助言)

カ 子育てサロン

- ・子育てサロンの設置・33地区で設置

キ 児童クラブ

- ・児童クラブの運営支援(54ヶ所)

ク 虐待防止、認知症等に関する市民への啓発・研修

- ・金沢市や児童相談所、地域包括支援センター等の関係機関と協力した虐待防止に向けた取り組みの実施
- ・高齢者・障害者虐待防止対応専門職チームへの参画
- ・金沢市・石川県社会福祉士会と共催で虐待防止研修会(動画配信)を開催(3月)  
テーマ「コロナ禍における高齢者虐待の防止を考える」～気づきの共有とその後の対応～

ケ 地域包括支援センターとの連携強化

- ・運営懇談会、地域ケア会議、ケース検討会への参加

コ 子どもの生活支援の取り組み

- ・スクールソーシャルワーカー活動への協力(1人、石川県教育委員会への協力)
- ・支援が届きにくい家庭へのアプローチ施策として「子ども宅食モデル事業」を社会福祉施設等と協力して実施(年4回実施、128世帯参加)

(5) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築に向けた取り組みの推進

ア 支え合いソーシャルワーカーの配置および相談者などに対する支援の実施

- ・新規相談受付 88件、前年度からの継続ケース 30件
- ・相談支援件数 1,886件  
(訪問328件、面接145件、電話993件、メール111件、LINE238件、  
会議56件、その他15件)
- ・支援プラン作成件数 5件
- ・重層的支援会議の開催 6回(プラン検討5回、プラン決定1回・5件)
- ・支援会議への出席 9回
- ・アドバイザーの出席 2回(社会福祉士1回、弁護士1回)
- ・重層的支援体制推進会議の出席 1回
- ・参加支援事業の実施  
みんなの社協食堂の開催 6回、延べ参加人数105人
- ・アウトリーチ等継続的支援の実施  
新規相談受付件数 88件(再掲)  
公式LINEによる相談窓口の開設  
アウトリーチ支援件数(訪問328件、メール111件、LINE238件)(再掲)

イ 地域の身近な福祉相談窓口のバックアップ



- ・相談件数 29件
- ウ 様々な相談支援機関等と連絡調整
  - ・会議出席 40件
  - ・講師対応 7件
- エ 支援実施状況の把握・助言
  - ・54地区 1,628件を把握し、助言。うち14件を引き継ぎ対応
- オ 市民と協働した生活課題を抱える方が集う場の開催（3回）
- カ 担当職員の資質向上（研修会の参加）
  - ・令和4年度重層的支援体制構築推進人材養成研修基礎編（全国研修、オンライン）  
参加人数6人
  - ・包括的支援体制と地域共生社会・共生社会の実現に向けた総合研修（オンライン）  
参加人数6人
- キ 事業の周知
  - ・支え合いソーシャルワーカーについて周知するチラシ・リーフレットの作成  
（関係者向けチラシ19,000部、個人向けリーフレット1,500部）

## （6）共同募金運動の支援

- ア 情報交換・課題協議
  - ・金沢市共同募委員会役員会（7月）
  - ・地区共同募委員会事務担当者会議（9月）
- イ 研修
  - ・地区共同募委員会会長・事務担当者研修会（2月）  
テーマ「伝わる情報発信のコツ  
～あなたのその情報、“伝えたい人”に“伝わっていますか？”～」
- ウ 広報啓発・活動支援
  - ・市社協情報で募金運動を広報
  - ・福祉のつどいで啓発（9月）
  - ・街頭募金（10月～12月、4回）
- エ 募金実績（金沢市共同募金会取り扱い分）
  - ・59,176,562円  
（一般募金36,285,021円、歳末募金22,891,541円）

## 2 生活に困窮する人や判断能力の低下した人、障害のある人などへの相談支援体制の充実

### （1）金沢権利擁護センターの運営

- ア 高齢者等の権利擁護に関する相談・支援
  - ・成年後見制度の利用に関する相談・支援・349件
  - ・日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）・契約件数139件
- イ 権利擁護に関する人材育成

- ・権利擁護セミナー（2回）
- ・講師派遣（6回）

ウ 研究協議

- ・運営委員会の開催（2回）
- ・法人成年後見等の試行的な実施（後見受任1件）
- ・成年後見制度利用促進協議会の設置・開催（4回）
- ・成年後見制度にかかる石川県連絡協議会への参加（1回）
- ・中核機関に関する打合せ会の開催（2回）

エ 広報

- ・「まちぐるみ福祉活動ガイドブック」、「すこやか長寿」、「障害がある方の便利帳」、「金沢権利擁護センターパンフレット」等で広報

オ 関係機関との連携

- ・専門職団体との連携強化  
成年後見制度連絡協議会、高齢者障害者虐待対応専門職チーム、ぱあとなあ（石川県社会福祉士会）等への参画
- ・金沢市地域包括支援センター、金沢市障害者基幹相談支援センター等との連携強化  
サービス担当者会議、個別支援会議、地域ケア会議へ80回出席

カ 職員の資質向上（研修会等への出席）

- ・成年後見制度利用促進体制整備研修、任意後見制度などに関する研修に職員が参加（36回、延べ92人）

(2) 金沢自立生活サポートセンターの運営

①生活困窮者自立相談支援事業

ア 自立相談支援事業の実施

- ・生活困窮者の包括的な相談・支援及び支援計画（プラン）の作成・サービスの提供  
新規受付相談：987件、支援プラン作成：56件  
新規就労者・増収者数：18件
- ・支援調整会議の開催（24回）
- ・アウトリーチ（自宅訪問、同行支援）：559件
- ・時間外・休日対応件数：27件

イ 住居確保給付金の相談対応・申請受付

申請受理：104件、支給決定：104件

ウ 家計改善支援事業の実施

- ・家計面に課題のある世帯に対する相談・支援の実施  
相談・支援：282件、家計プラン作成：22件

エ 子どもの学習総合支援事業の実施

- ・学習支援教室の開催（毎週金曜日、隔週土曜日 他）・生活困窮世帯中学生の学習支援と居場所づくり・高校進学後の学習支援と居場所づくり  
参加登録者：37人、教室96回開催、延べ参加者：352人
- ・学習支援ボランティア（大学生）による教室運営

ボランティア登録者：51人

- ・ボランティア説明会の開催（4回、参加者：10人）
- ・企画・運営ミーティングの開催（2回）
- ・ボランティア講習会の開催（2回 ※うち1回は欠席者への伝達講習）
- ・学習支援便りの発行（計12回）
- ・進学パンフレットの発行

※交流イベント（バーベキュー、調理実習、レクリエーション等）は、感染拡大防止のため中止

オ 生活困窮者自立支援連絡協議会の開催

- ・生活困窮者支援団体・関係機関等との連携・情報交換（1回）

カ 関係機関の会議等への出席

- ・金沢市重層的支援体制推進会議、金沢子ども応援ネットワーク情報交換会、金沢地域精神保健福祉連絡会

キ 研修会等への講師派遣

- ・金沢大学地域創造学類等（2回）

ク 広報

- ・パンフレット、金沢市社協情報、「まちぐるみ福祉活動ガイドブック」等で広報

ケ 職員の資質向上（研修会等への出席）

- ・生活困窮者自立支援制度従事者養成研修等に職員が参加（6回、延べ19人）

## ②生活福祉資金貸付事業・生活つなぎ資金貸付事務

ア 生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金（住居を喪失した失業者世帯の自立支援）の相談対応・申請受付

申請受付：899件（うち特例貸付：765件）

イ 生活つなぎ資金貸付事務

貸付件数：423件

## ③新型コロナウイルス感染症により収入が減少した世帯への特例貸付及び住居確保給付金の相談対応・申請受付

ア 特例貸付相談室の開設（面接相談者：497件）

イ 新規受付相談：367件

ウ 特例貸付申請受付：765件

※ 9月30日で申請受付が終了。特例貸付相談窓口は10月14日（金）に閉所。

## ④社会福祉士会等専門職団体と連携した住居喪失者等支援活動

住居喪失や失業等による生活困窮者が生活している場に出向いての相談対応や資金貸付等による支援を、専門職団体が行う活動（見守り、安否確認、食糧・支援物資の提供等）と連携して実施

ア 巡回相談、路上生活者等支援団体との情報交換会（月2回）

イ 路上生活者等との交流会 → 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ウ 元路上生活者20人に年賀状を送付
- エ サポートセンターでの食糧支援・延べ140人
- オ 路上生活者への食糧支援 24回延べ48人
- カ 支え合いソーシャルワーカーによる緊急支援 5世帯延べ46回

⑤フードバンクネットワーク組織の基盤づくり  
 フードバンクネットワーク団体への参画

(3) 金沢障害者就業・生活支援センター／障害者雇用定着促進事業

ア 相談・支援の充実

- ・就職に向けた相談支援、準備支援（職場実習または職業準備訓練の斡旋等）  
 支援登録者：978人、相談件数：6,680件、職場実習等：27件  
 職場定着支援：494件、新規就労者：60人

イ 在職者の交流活動事業の実施

- ・スッキリ会（精神障害・発達障害のある方対象）：6回開催、延べ54人参加
- ・WA I W A I 会（知的障害のある方）：4回開催、延べ32人参加

ウ 就職活動支援セミナーの開催（2回開催、延べ17人参加）

エ ピアサポート活動の実施（1回開催、延べ2人参加）

オ ネットワーク形成・セミナー等の開催（7回開催、延べ146人参加）

カ 関係機関との連携

- ・就労支援連絡会議の開催（1回）
- ・特別支援学校生徒への支援（4校、職場実習企業巡回訪問、情報交換会等）
- ・関連会議への出席（金沢市障害者自立支援協議会、石川県発達障害者支援体制推進会議等45回出席）
- ・講師派遣（5回）

キ 職員の資質向上（研修会等への出席）

- ・障害者就業・生活支援事業をより深く考えるための全国フォーラム等に職員が参加（12回、延べ12人）

(4) 金沢福祉用具情報プラザの管理運営（指定管理事業）

ア 展示事業

- ・最新の福祉用具と住宅改修モデルの展示（福祉用具1,253点展示）
- ・展示福祉用具選定部会の開催（11月）
- ・最新福祉用具展示会およびYouTube等でのオンライン展示会の開催（1月）

イ 相談事業

- ・福祉用具、住宅改修、介護、福祉制度に関する相談  
 （1,892人、3,813件）
- ・ボランティアと連携した衣服リフォーム相談の実施（5人、延べ17件着手）
- ・ZOOMやLINEを活用したオンライン相談の実施（1件）
- ・住宅改修・福祉用具適合に関する訪問相談（53件）

- ・かなざわコミュニケーションSIG（コミュニケーション機器の情報・発信に関わる専門職のネットワーク）の実施（相談12件）
- ・適切な福祉用具入手・選定のための福祉用具貸出（1,421人、2,729点）
- ・職員の資質向上（研修会等への出席）

石川県医療的ケア児等支援者養成研修等へ参加（17回、延べ28人）

#### ウ 情報事業

- ・金沢市社協情報、まちぐるみ福祉活動ガイドブック、すこやか長寿による情報発信
- ・ホームページやSNSを活用した情報発信
  - ホームページ 閲覧回数：11,041件
  - フェイスブック 投稿件数：95件、閲覧回数：34,803回
  - ユーチューブ 投稿件数：90件、視聴回数累計：92,894回
  - インスタグラム 投稿件数：59件、視聴回数累計：43,051回
- ・ハンドル形電動車椅子出前講座の実施（0件）
- ・ハンドル形電動車椅子支援に関するアンケート調査の実施（11～12月に実施）
- ・図書の出借（5件、12冊）
- ・福祉用具開発のための展示福祉用具試用貸出状況データの情報発信

#### エ 学習事業

- ・福祉用具専門相談員指定講習会の開催（1回開催、8日間、20人修了）
- ・住宅改修基礎講習会の開催（2回開催、延べ56人参加）
- ・ふくせん石川県ブロック研修会（共催：日本福祉用具供給協会石川県ブロック）の開催（1回開催、22人参加）
- ・腰痛予防対策研修会（共催：丸文通商株）の開催（1回開催、27人参加）
- ・スキルアップ研修会「ひとにやさしいケアと福祉用具」の開催（13回開催、個人85人、17施設287人参加）
- ・リクエスト講座の開催（8回開催、延べ95人参加）

#### オ 市民交流事業

- ・車椅子展示会の開催（5月）
- ・プラザ祭り2022の開催（6月、874人参加）
- ・国際福祉機器展（H.C.R.2022）報告会の開催（10月、16人参加）
- ・地域福祉活動支援（職員派遣9回）
- ・高齢者疑似体験セット等の体験学習器具の貸出（24件、120点）

カ 中日本ブロック介護実習・普及センター連絡会議への参加（11月）

#### キ 介護保険住宅改修適正化事業

住宅改修の申請者宅への訪問、現地確認・アドバイス（1件）

#### ク 施設利用

来館者等利用者数：29,475人、貸館等利用：204件、2,025人  
視察・見学受入：80件、740人

#### ケ 利用者満足度アンケート（622人回答）

職員対応、館内表示、施設清掃、設備（バリアフリー等）、開館時間、展示品充実度、専門職員充実度のそれぞれの項目において「満足」「やや満足」が8割以上

(5) 地域活動支援センター

→ 感染拡大防止のため休止

(6) いきいきギャラリーの運営

高齢者・障害のある方の手作り品の展示・販売

31施設・団体が出展、売り上げ：1,968,474円、1,968人来店

※市民教室、研修室の貸出は、感染拡大防止のため中止(令和5年2月～研修室の貸出を再開)

(7) 金沢メルシーキャブサービス(車いす使用者の送迎サービス)

ア 利用状況

利用会員：107人、989回運行、総利用距離：6,309km(3台)

イ 運転協力会員(ボランティア)の状況

運転協力会員(ボランティア)：83人、延べ運転者数：899人

・新規運転協力会員講習(随時)：受講者1人

・カウンセリング付一般診断(70歳以上対象)の実施(随時)：受講者0人

ウ 広報

・金沢市社協情報、金沢市広報、ホームページ等で利用会員及び運転協力会員募集

### 3 地域福祉の推進に関する調査研究及び福祉人材の養成・確保・定着、福祉サービスの質の向上に向けた取り組みの推進

(1) 介護・福祉サービス事業者の研修、人材定着の取り組み

①介護サービス事業者連絡会

[金沢市と連携して実施]

ア 事業者相互の情報交換・課題協議

・総会(1回)、理事会(2回)、正副会長会議(1回)

・部会会議(随時)、部会正副部会長会議(随時)

イ 研修・研究協議

・全体研修会(1回)、85人参加

講義「新型コロナウイルスの感染者が発生した場合に事業所がとるべき対応について」

・ケアプラン研修(2回)、延べ80人参加

テーマ「介護支援専門員能力向上研修(5年以上)」

「介護支援専門員能力向上研修(5年未満)」

・部会別研修会等・19部会で37回の研修・研究協議を実施、延べ431人参加

ウ 調査研究

・業務上の課題およびBCP策定等に関するアンケート調査の実施(訪問介護部会)

・部会活動等に関するアンケート調査の実施(訪問リハビリテーション部会)

・介護現場におけるハラスメントに関するアンケート調査(通所介護部会、通所リハ)

ビリテーション部会)

エ 情報の提供

- ・行政情報の提供 (随時)
- ・介護支援専門員および各事業者等への事業者情報の提供

オ 関係機関との連携

- ・金沢市医師会、金沢市歯科医師会、金沢市薬剤師会等の関係機関との連携強化

カ 会員の状況 233 法人、763 事業所

キ ホームページの構築 (リニューアル)

ク オンライン会議環境の整備

ケ 電子メールによる連絡・情報提供体制の整備

②専門部会 (保育部会、老人福祉施設連絡会、地域デイサービス部会、障害児・者福祉施設連絡会) 及び介護サービス事業者連絡会等の関係団体と協力しての研修の実施

※「5- (2) 専門部会での調査研究、関係機関との連携強化」参照

③介護職員人材定着促進事業

ア 介護職員の相談・交流の場 (ケア・ワーカーカフェ) の設置

→介護福祉士国家試験対策講座を実施 (3回、延べ21人参加)

イ ケア・メンター派遣事業

- ・派遣先事業所数・回数…6事業所、合計31回
- ・ケア・メンター意見交換会の開催 (3回)

ウ かなざわ介護ラボの開催

- ・実行委員会の開催 (5回)

写真を通して介護の仕事の魅力を発信する「“介護ベストショット”

フォトコンテスト」を実施 (応募93点、最優秀賞1作品、優秀賞3作品、入選5作品)

エ SNS (インスタグラム、フェイスブック、ユーチューブ) ・ポスター等による広報活動実施

④社会福祉事業従事者互助会の運営 (民間社会福祉事業従事者の退職共済制度の運営)

ア 互助会制度の運営・理事会 (2回) 開催 ※1回書面表決、1回WEB会議

代議員会 (2回) 開催 ※1回書面表決、1回WEB会議

イ 会員…188事業所、2,308人の会員

ウ 退職手当金の支給

令和4年度退会者217人、退職手当金232,341,500円支給

※保有率75.46%

エ 貸付制度…2件、6,200,000円貸付

(2) 福祉サービスの質の向上

①介護サービス相談員派遣事業

- ア 介護サービス相談員の養成  
新規養成人数 7名
- イ 介護サービス相談員の派遣  
介護サービス相談員50人、派遣回数49回、派遣対象事業所68カ所（特養、老健、療養型、認知症高齢者グループホーム等）
- ウ その他受入事業所への訪問（4回）
- エ 介護サービス相談員連絡会（4回）  
受入事業所との意見交換会 → 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- オ 研修
  - ・介護サービス相談員研修会（2回、延べ83人参加）  
テーマ「ZOOM体験会」  
「新型コロナウイルス感染症対策について」
  - ・介護相談員現任研修への参加（2人）
- カ 調査・研究、広報
  - ・広報（受入事業所掲示用ポスターの作成）
  - ・活動状況報告書の作成・介護相談・受け入れ事業所への提供
  - ・受入状況の確認アンケートの実施（4回）

## ②実習の受け入れ

社会福祉士養成課程「相談援助実習」における実習生13人を受け入れ

- ・北陸学院大学8人、金沢大学3人、富山大学2人

## 4 ボランティアセンター機能・市民への情報発信機能の充実及び災害時の支援体制の強化

### (1) ボランティアセンターの運営

- ア 相談と調整
  - ・ボランティア登録者：12,337人  
(個人3,629人、グループ8,708人・233グループ)
  - ・ボランティアに関する相談：50件
  - ・ボランティアマッチングシステムを導入し、ボランティア受入施設等と活動希望者の調整を行った。(斡旋件数：20件)
- イ 活動支援
  - ・福祉ボランティア活動育成事業：63グループに3,149,000円助成
  - ・ボランティア活動保険受付：12,337人、保険料助成：1,601,600円
  - ・ボランティア行事用保険受付：75,681人(783件の行事)  
保険料助成：316,400円
  - ・使用済み切手の収集：18件収集
- ウ ネットワークづくり
  - ・金沢市福祉ボランティア連絡協議会



正副会長会議（2回）、理事会（1回）、研修会（2回）、  
福祉のつどい協力（1回）

エ 学習／研修

- ・ボランティア講座（3回開催、59人参加）  
テーマ「マスク着用でも伝わる！ボランティアのための傾聴」  
「やさしく学べる！ボランティアグループの会則の作り方」  
「ボランティア活動の資金調達を学ぼう」
- ・ボランティア講座等への職員派遣（1回）
- ・「ボランティアカフェ@まつがえ」（5回開催、44人参加）  
テーマ「制服バンク～制服を買えない子どもたち～」  
「やってみよう！運転ボランティア」  
「患者・家族会のボランティアについて」  
「自死遺族を支えるために」  
「知ることから始めよう LGBT」

オ 石川県社会福祉協議会・ボランティアセンターとの連携

- ・ジュニアボランティア体験事業・10地区で実施
- ・児童・生徒のボランティア活動普及事業・指定小学校なし

カ 企業への社会貢献

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

キ いきいきシニア介護支援ボランティアポイント事業

※高齢者がボランティア活動を通じて生きがいづくりや健康づくりの促進を図る事業  
高齢者がボランティア登録、新規活動者は研修受講、高齢者福祉施設での活動に応じてポイントを付与しクーポン券交付

- ・登録ボランティア：25人（平均年齢79.3歳）／受入施設：60施設
- ・総活動回数：24回  
（活動者一人あたり1.0回／月、1回あたり約2時間00分活動）

- ・クーポン券申請者：1人、クーポン券発行数：1冊

※登録ボランティア講習会、受入施設担当者研修会、ボランティアと施設職員との情報交換会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ク 地域福祉ボランティア推進事業

地区社協が指定する地域福祉活動に協力する市民がボランティア登録し、その活動に応じてポイントを付与しクーポン券交付

- ・登録ボランティア：70人（平均年齢70.4歳）／受入地区社協：48地区
- ・クーポン券発行者：18人、クーポン券発行数：70冊

(2) 金沢災害ボランティアセンターの体制整備

ア 金沢災害ボランティアセンター運営関係団体との連携

- ・金沢災害ボランティアネットワーク会議の開催（3月、1回）
- ・金沢市及び金沢市内の13のライオンズクラブと災害福祉活動に関する相互連携協定の締結（4月）

- ・石川県アラートセミナー(ライオンズクラブ国際協会 334-D 地区主催)への参加 (12月)
- ・石川県災害ボランティア連絡会への参加 (3月、1回)
- イ 災害ボランティアセンターに関する周知・設置運営に関する研修等
  - ・金沢災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施 (6月、1回)
  - ・令和4年8月豪雨災害被災地の災害ボランティアセンターへ運営スタッフを派遣  
(小松市、延べ7日間に延べ13名)

### (3) 広報啓発

#### ①市民への情報発信の充実

- ・「金沢市社協情報」の発行 (18,000部×6回)
- ・ホームページによる情報発信 23回
- ・LINEによる情報発信 18回 (LINE登録者507人)

#### ②金沢市社会福祉大会、福祉のつどい、障害者ふれあいコンサートの開催

- ア 第68回金沢市社会福祉大会 (9月4日、金沢市文化ホールで開催)
  - ・社会福祉事業関係者表彰、標語入選者表彰、被表彰者記念撮影
- イ 福祉のつどい金沢2022・ふれあいコンサートの開催  
(9月4日、金沢市松ヶ枝福祉館・松ヶ枝緑地で開催)
  - ・ゲーム、福祉ショップ、活動紹介・体験、コンサート等50団体が参加  
計2,472人参加 (来場者2,025人、参加団体335人、ボランティア41人、  
関係者・事務局71人)

#### ③人権・同和問題研修会

- ア 人権・同和問題に関する研修会の開催 (虐待防止研修1回開催※動画配信)
- イ 関係機関が実施する人権・同和問題に関する研修会への参加 (金沢市が主催する人権・同和問題研修会、人権問題講演会等2回参加)

#### ④こどもすくすくウィーク

- ア ホームページに特設サイトを開設し、各保育所及び認定こども園の特色や活動等について情報発信
- イ 未就園児と保護者の施設見学を受け入れ

## 5 法人の基盤及び機能の強化

### (1) 法人の基盤強化

#### ①法人の運営

- ア 理事会 (5回)
  - ・4月1日 (理事11人、監事3人出席)  
専務理事の選定

- ・ 6月13日（理事10人、監事2人出席）  
令和3年度事業報告・収支決算報告、理事辞任に伴う後任理事候補者の選定、定時評議員会の招集
- ・ 9月28日（理事13人、監事3人出席）  
諸規程の一部改正
- ・ 3月17日（理事10人、監事2人出席）  
定款の変更、諸規程の一部改正、令和4年度収支補正予算、令和5年度事業計画・収支予算、役員等賠償責任保険契約、事務局長の選任、評議員会の招集
- ・ 3月27日（理事13人、監事3人同意） ※書面審議  
理事辞任に伴う後任理事候補者の選定

#### イ 評議員会（2回）

- ・ 6月29日（評議員12人出席）  
令和3年度事業報告・収支決算報告、理事辞任に伴う後任理事の選任
- ・ 3月28日（評議員12人出席）  
定款の変更、令和4年度収支補正予算、令和5年度事業計画・収支予算、理事辞任に伴う後任理事の選任

#### ウ 監事会（1回）

- ・ 6月6日（監事3人出席）  
令和3年度事業報告・収支決算

#### ②会員セミナーの開催

- ・ 1月12日 金沢市長土堀青少年交流センター（68人参加）
- ・ 講演 「親和力で奏でる気金沢市政」  
講師 金沢市長 村山 卓 氏
- ・ 説明 「共に生きる豊かな地域社会・金沢の実現に向けて」  
金沢市社協会長 桶川 秀志

#### ③税理士等による助言・指導

法人運営の透明性を高めるための税理士等による助言・指導

#### ④関係機関との連携強化

- ・ 町会、公民館、婦人会、老人会等の地域福祉推進関係団体との連携強化
- ・ 医師会、歯科医師会、薬剤師会、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、ソーシャルワーカー協会、地域包括支援センター、障害者機関相談支援センター、福祉保健センター、児童相談所、相談支援専門員協会、警察、ハローワーク、保護観察所等の専門機関との連携強化
- ・ 福祉・介護サービス提供事業所、善隣館、ボランティアグループ、NPO、大学・専門学校、企業、教育委員会、行政等の関係機関との連携強化

(2) 専門部会（保育部会、老人福祉施設連絡会、地域デイサービス部会、障害児・者福祉施設連絡  
での調査研究、関係機関との連携強化

ア 保育部会

- ・理事会（12回）※うち8回WEB会議
- 総会（2回）※WEB会議
- ・理事長・所長研修会（2回）※WEB  
    テーマ「保育現場の虐待・不適切保育について」（45人参加）  
    「委員会報告」・「行政説明」（80人参加）
- ・専門委員会による調査、研究
  - 第1委員会（環境改善）・・・2回
  - 第2委員会（人材確保）・・・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため活動休止
  - 第3委員会（保育保健）・・・3回
  - 第4委員会（広報）・・・4回（うち2回は、ホームページ「かなざわ保育ナビ」  
活用に向けた講習会）
- ・金沢市保育医療連絡協議会等と連携しての調査・研究、研修
- ・こどもすくすくウィーク（ホームページに特設サイトを開設し、各保育所及び認定こども園の特色や活動等について情報発信、未就園児と保護者の施設見学を受け入れ）

イ 金沢市障害児・者福祉施設連絡会

- ・監事会（4月）、幹事会（5月、2月オンライン）、連絡会議（6月オンライン、3月オンライン併用）の開催
- ・職員研修会
  - ①「BCPの策定について」（11月、13人、オンライン）
  - ②「虐待防止・権利擁護」（2月、13人、オンライン）
- ・情報交換会「日常の業務について」（2月、13人、オンライン）
- ・市民体育館・プール無料開放の周知（※利用希望なし）
- ※レクリエーションボッチャ大会、プラザ祭りへの参加等は、感染拡大防止のため中止

ウ 老人福祉施設連絡会

- ・理事会（1回）、総会（1回）
- ・施設長、事務長等研修会（オンライン）  
    講義「老人福祉施設における大規模災害発生時のBCP（業務継続計画）について」  
    （1月、35人）
- ・介護職員等研修会（オンライン）  
    講義「最期までその人らしい生活を支える支援と看取り」（2月、32人）
- ・施設職員の自主研修費の助成（21施設に助成）
- ・施設間交流促進事業（2施設、1回）
- ・地域貢献活動（拠点型子ども宅食モデル事業の協力）  
    会場の貸出（1施設、2回）

- フードドライブによる食材提供（5施設、延べ7回）
- ・SNSを活用した広報活動「カイゴの日常～ケアワーカーリレー」（25施設、25回）

エ 地域デイサービス部会

- ・部会会議（2回）
- ・職員研修検討等実務担当者会議
- ・デイサービス事業の実態調査（2回・経営状況、総合事業の取り組み等）
- ・職員研修会「介護記録の書き方について」（1月、14人、オンライン）
- ・全体研修会「デイサービスにおけるハラスメント対策」（3月、14人、オンライン）
- ・利用者作品展の開催（会員6施設巡回型）
- ・SNSを活用した施設紹介（3施設、8回）

(3) 職員の資質向上・やりがいのある職場づくり

- ア 職員研修（61回、延べ147人が受講）
  - ・新任職員研修等の実施
  - ・外部研修への参加
- イ 職員の資格取得支援
- ウ 職員への社会貢献活動への参加の支援

(4) インターネット環境等の整備

- 事務局内のインターネット環境の整備
- 公衆無線LAN環境を整備

(5) 金沢市松ヶ枝福祉館の管理運営（指定管理事業）

①金沢市松ヶ枝福祉館の管理運営

- ア 自主的活動の支援
  - ・利用登録団体（市内のボランティアグループ、福祉・保健・医療等関係機関・団体）  
351団体
  - ・研修室等利用状況  
利用者数：37,687人、研修室等利用：2,109回
- イ 利用者満足度アンケートの実施
- ウ タブレットの設置  
金沢市松ヶ枝福祉館で開催する地区社協、民児協、保育部会等の会議における資料のペーパーレス化を図るとともに、リモートによる各種会議の実施を推進するため、タブレットを導入し、各種会議参加者に貸与した。

②福祉保健総合相談事業（裁判所職員OB会等と連携した相談活動）

- ア 福祉なんでも相談：25,641件
- イ 民事・家事に関する法律相談：32件

(6) 新型コロナウイルス感染症への対応

①利用者及び関係者の感染防止対策

- ア 管理施設に手指消毒液、AI検温器を設置
- イ 消毒・換気の徹底
- ウ 利用定員等の制限

②役職員の感染防止対策

- ア 手指消毒・マスク着用・検温等の徹底
- イ 相談ブースへのアクリル板設置